

5G NR RF TRx測定/Protocol試験

ラジオ コミュニケーション テストステーション MT8000A

5Gの進化に追従

5G NRは現行のLTEと比べ、100倍を超える通信速度、通信容量の拡張を目標とした新しい通信規格です。

そのため、通信帯域幅の大幅な拡張や、従来モバイル通信に使用されていなかったミリ波帯の活用など、無線通信技術の進化が求められます。

アンリツは、5G NRの発展に伴う通信技術の進化に対応すべく、5G NRのRF TRx測定/Protocol試験に対応した新ソリューション MT8000Aをリリースしました。

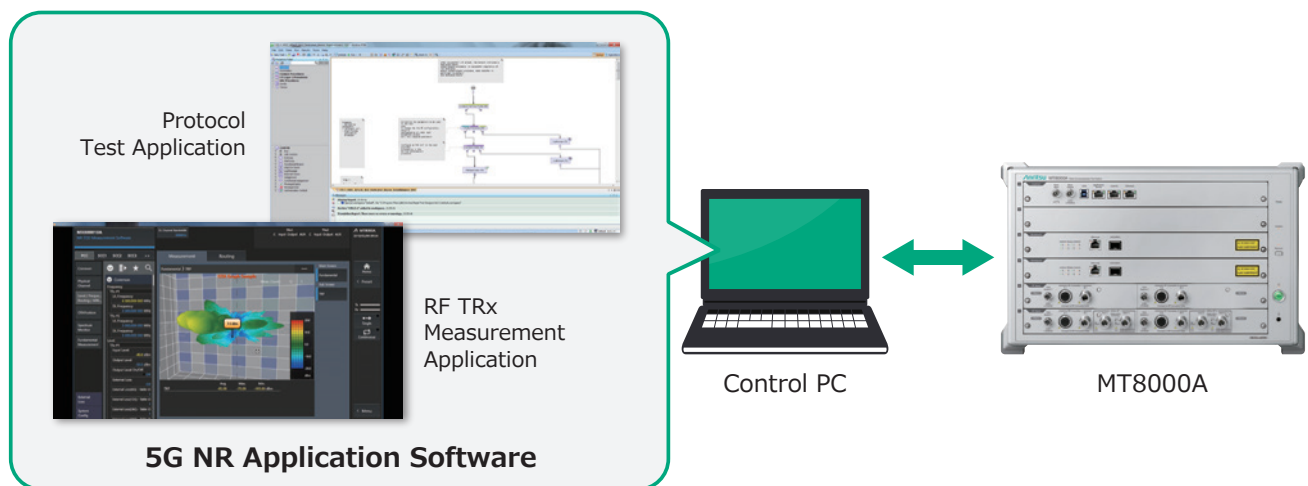


5G向け新テストプラットフォーム・MT8000Aの3つの特長

1. 多様なテストニーズに対応

共通のハードウェアプラットフォームでテストアプリケーションを切り替えることにより、Non-signalling/Signalling RF TRx測定およびProtocol試験の両方に対応します。

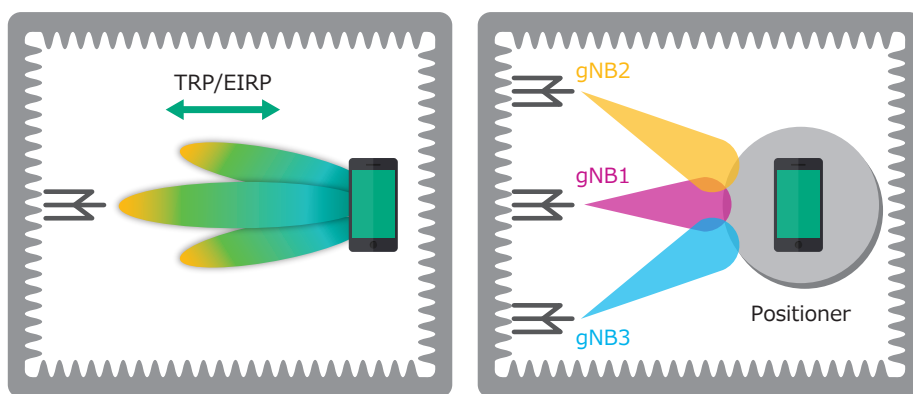
高速大容量通信を実現するMIMOの高次化(4x4MIMO)や、キャリアアグリゲーション(8CA)に対応するほか、モジュラーアーキテクチャによる柔軟性と拡張性を備えた先進のデザインで、今後広がる超高信頼低遅延、超多端末接続などの新しい5G試験需要に対応。将来にわたり幅広い用途でお使いいただけるフレキシブルなテスト環境を提供します。



RF TRx測定とProtocol試験環境のイメージ

2. 5Gで採用されたミリ波のトータル試験環境を提供

5G NRではサブ6 GHz帯とともに、ミリ波帯での試験が新しく必要となります。ミリ波帯におけるTRP/EIRPなどのRF TRx測定や、Beam ManagementによるHandover試験といった主要試験がすべてOTA環境下での評価が必須となります。MT8000Aは、Band n41を含むサブ6 GHz帯はもとより、RF Chamber MA8171Aと組み合わせることで、OTA環境下での5G NR端末の評価にも対応します。



RF Chamberと組み合わせた、ミリ波のRF/Protocol試験例

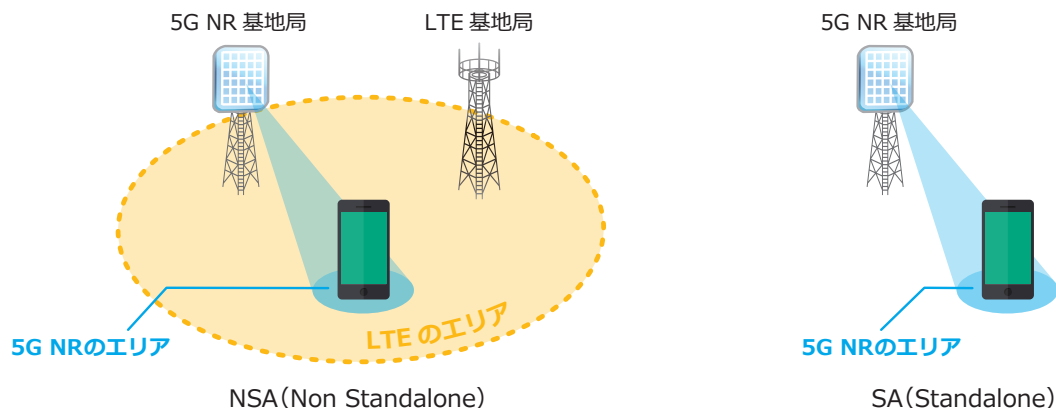
対応Band例

Band	n41 (2.5 GHz)	n78-79 (3.5 GHz/4.5 GHz)	n257 (28 GHz)	n260 (39 GHz)
	✓	✓	✓	✓

* その他の対応バンドについてはお問い合わせください。

3. NSA/SA試験環境をタイムリーに提供

アンリツは、市場で先行して採用されるNSA (Non-Standalone; 5G NRとLTEで構成) 試験ソリューションを提供しており、また、将来市場にて導入される予定のSA (Standalone; 5G NRのみで構成) も、タイムリーに提供する予定です。また、NSA試験ソリューションでは、安定した動作実績のあるLTE試験環境やシナリオなどの試験資産を活用でき、5GとLTEの連動試験環境をスムーズに構築できます。



5G NR NSA/SA構成のイメージ